

『土佐日記』

紀貫之もする日記というものを、中村もしてみむとてするなり。その年の八月の十日あまり一日の日の辰の刻に、出発す。その由、いささかに学年通信に書きつく。ある人、仕事の夏休みを得て、例のことどもみなし終へて、カメラなど取りて、住む館より出でて、飛行機に乗るべき所へ渡る。かれこれ、土佐の美味なるもの美しき景色を調べ尽くし、友人とあひにけり。

三年ほど前。大学時代の友人と高知県に旅行に行きました。現地でレンタカーを借り、灼熱の桂浜を歩き、海を眺め、坂本龍馬像と写真を撮る。商店街を歩き回って高知城を拝む。ひろめ市場で海の幸とご当地の日本酒を味わう。四万十川の沈下橋を渡り、仁淀川でラフティング。足摺岬では、道を阻む木々をよけながら遊歩道をひたすら進み、夕日が沈んでいくのを時間が過ぎるのも忘れて見ました。スマホを車内に忘れて取りに戻った夜の駐車場。満天の星空と、それを横切る流れ星に大きな声を出してしまったこと等、本当に細かく思い出されます。

旅の間、私がずっと思っていたのは、「なんだか宮崎に似ている」ということです。美しい山も川も海もあり、人が温かく、とにかく食べ物が新鮮で美味しくて。車がないとどこにも行けず、観光名所同士がとにかく遠い！アクセスがよくない！それでも、本当に行って良かったと思える。豊かな自然が心を豊かにしてくれること、地域の歴史と伝統がたくさんのことを教えてくれることを、改めて体感することができたと思います。旅の終わりには、高知の余韻にひたりながら、お互いの地元の良さを話しながら帰ったのでした。共に旅をした彼女は、滋賀県の近江八幡。なんと彦根城の城内にある、歴史ある高校の出身です。初めて聞いたときには「かっこいい…！！」と思ったものです。「滋賀にはなんもあらへん。」と、ほいほいと近隣の京都や大阪で遊ぶような子ですが、話を聞けば、きちんと自分の生まれ育った地域の歴史と伝統に誇りを持っていることがうかがえました。さも当然のように地元について語れる友人を見て、なんだかとっても嬉しかったのを憶えています。

今、一年生の皆さんは「未来戦略課」の活動が始まろうとしていますね。私は高知での旅を通して、いかに自分の住む地域を意識していなかったか、気づかされました。立ち止まって向き合ってみれば、自分の中に宮崎を大切に思う気持ちがあったのです。皆さんにとっての地元はどうでしょうか。もちろん、解決すべき課題はたくさんありそうです。けれども、「そもそも日南市の魅力とは？強みは？」と、日南市の良さや歴史的な背景を知り、認めることも現状を捉えるヒントになるのではないかと思います。皆さんが何を問題に感じ、着眼し、どう捉えて課題を解決していくのか。探究していくのか。これからの活動を楽しみにしていますね。

【週行事予定】

月	日	曜	行事予定	FT	課外	備考
1 2 月	13	月		×	B	7:25 登校
	14	火	⑦未来戦略課 派遣委員会	○	B	7:25 登校
	15	水	職員会議 ※清掃カット	×	B	7:25 登校
	16	木	⑦学校安全実践地域訪問報告会	○	B	7:25 登校
	17	金		○	B	7:25 登校
	18	土				
	19	日				
	20	月	特編授業①②③④⑦の授業 ⑥防災講話 ※清掃カット	×	C	7:25 登校
	21	火	特編授業①～⑥	×	C	7:25 登校
	22	水	特編授業①～⑥	×	C	7:25 登校
	23	木	特編授業①～⑥	×	C	7:25 登校
	24	金	終業日	×	×	8:15 登校

